

## 自動車盗・オートバイ盗

### ◆ 被害時の状況

＜鍵をかけても安心はできません＞

自動車盗・オートバイ盗の約8割が、キーを抜いた状態であるにもかかわらず被害にあっています。

また、被害場所の多くは駐車場・駐輪場となっています。

### 被害時の施錠状況

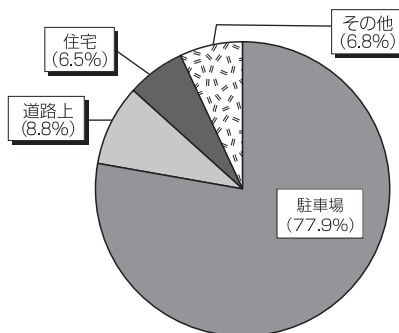
罪種	自動車盗	オートバイ盗
年別	26年	26年
キーをつけたまま放置 (率)	406 18.6%	1,445 22.2%
キーを抜いた状態 (率)	1,778 81.4%	5,066 77.8%
総数	2,184	6,511

※ドアの施錠の有無は不明

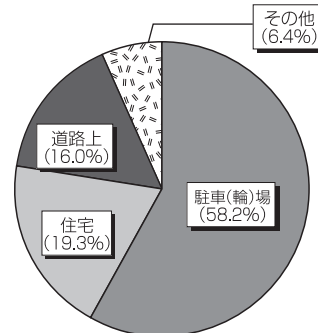
### 平成26年中 被害場所状況

	駐車(輪)場	道路上	住宅	その他
自動車盗	1,702	192	142	148
オートバイ盗	3,788	1,045	1,259	419

自動車盗被害場所



オートバイ盗被害場所



### ◆ 被害にあわないために

- 警報装置など防犯グッズを取り付けたり、セキュリティの高い駐車場などを利用しましょう。
- イモビライザ搭載の自動車にすることも効果的です。

### 盗難防止に有効なイモビライザとは？

通常のキーは、キーシリンダー内部と鍵山の形状が一致すれば、イグニッションスイッチをオンにして、エンジンを始動することができます。

これに対しイモビライザは、専用キーに埋め込まれたトランスポンダ（送信機）の電子IDコードと車両本体内の電子制御装置に登録された電子IDコードが一致しないとエンジンは始動しません。そのため鍵の偽造が難しく、単に鍵山の形状が同一の複製キーを作っただけでは盗み出すことができません。

#### ●イモビライザシステムの仕組み

(自動車メーカーによる純正のイモビライザシステムの場合)



※欧州では1997年1月からEU内に出荷される新車に対し、イモビライザの装着が義務化されています。

自動車盗難等防止機器の一例

